



# ŌMIYA NEWS



No.60

2023年10月20日

JR 東労組大宮地本

## 業績回復の一方で労働実感・生活実感は厳しくなるばかり! 私たちには年末手当満額獲得が絶対に必要だ!

### ■ 職場の苦闘により業績回復を実現!

◆ 上半期の鉄道営業収入は大幅回復!

鉄道営業収入の推移	定期	定期外	合計
2022年度比	108.2%	131.3%	<u>124.7%</u>
2018年度比	84.1%	90.8%	89.1%



業績は順調に回復中!!

◆ 第1四半期決算は増収増益!

単体の営業収益は503億円の増加で前年比112%!

連結の営業収益は718億円の増加で前年比112%!

連結の営業利益は801億円で前年比199%、純利益は448億円で前年比236%を達成!!



### ■ 一方、労働実感は?

※「労働条件のあゆみ」「有価証券報告書」を元に作成



コロナ以降、期末手当は累計で約5.38カ月も減少し、支給額は累計で約180万円も減少! さらに一昨年の定昇カットの影響で約11万円も減額!



一方、会社施策と組織再編により業務が複雑化する中、社員数は5年で約5000名も減少し、負担はさらに増大!



賃金も社員数も大きく減少! しかし、業務は複雑化し負担増大! 労働実感は厳しくなるばかりだ!

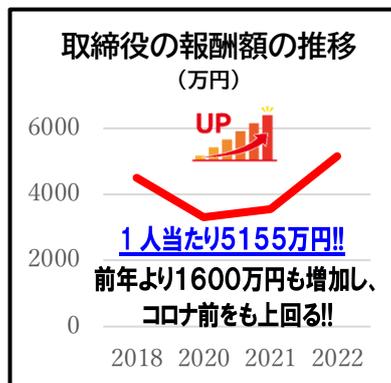
### ■ そして、生活実感は?

※帝国データバンクの調査及びみずほリサーチ&テクノロジーズの試算



生活品の値上げは食品だけで既に31887品目の値上げが判明!! その他にも円安や原油価格の影響で光熱費や耐久財等多くが値上げされ、1ドル=150円の場合、家計負担は昨年比で約10万円、21年度比で約21万円も増加するとの試算もある。

### ■ それでも、役員報酬だけは…



社員には「目標未達」「コロナ前には戻らない」としつつも、一人当たりの報酬は5155万円で前年より1600万円も増加!! コロナ前を600万円も上回る!!

家計負担は2年で21万円も増加!!生活実感は厳しくなる一方!!

役員報酬だけはコロナ前以上の水準を確保!

厳しい労働実感・生活実感の中で奮闘しているのに、私たちの年末手当は本当にこのままで良いのか? 会社は今こそ満額回答で職場の苦闘に報いるべきだ! 東労組への結集を呼びかけ、共にたたかおう!